



## 特定非営利活動法人 京都舞台芸術協会

### 2021 年度 定例総会

～資料～

新型コロナウイルス感染拡大防止対策により  
本年度定例総会はオンラインビデオチャット方式で行います

とき：2021年5月18日（火）19:00～21:00（ビデオチャットは18:45より開設）

※ご出席方法などは別紙案内をご覧ください

#### 次第

1. 開会
2. 理事長あいさつ
3. 議長の選任（P. 2）
4. 議事（審議事項）
  - ・ 第1号議案 2020年度 活動報告（P. 2）
  - ・ 第2号議案 2020年度 収支決算報告（P. 10）  
～会計監査報告～（P. 11）
  - ・ 第3号議案 2021年度 活動計画（案）（P. 12）
  - ・ 第4号議案 2021年度 収支予算（案）（P. 17）
5. 会議録（理事会）（P. 18）
6. 議事録署名人の選任（P. 18）
7. 閉会

# 議長の選任

---

---

定款第26条にもとづき、総会出席者の中から議事をすすめる議長を選出します。  
以降、議長は総会の進行を務めます。

## ■ 定款 第26条

第5章 総会  
(議長)

第26条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

# 第1号議案 2020年度活動報告

---

---

## 2020年度に京都舞台芸術協会が行った活動

### ■ A 互助事業

- ① 「なんでも相談窓口」の運営
- ② 「創作活動」と「労働環境」の関係性を探るリサーチ
- ③ 舞台芸術家の交流事業「交流会」
- ④ 京都市いきいき市民活動センターの利用料金化に関する意見交換会

### ■ B 企画事業

- ① 感想シェア会
- ② 思考と技術のトークシリーズ
- ③ 俳優のためのワークショップ企画「”あなた”と”表現”を生かす『からだの使い方』——アレクサンダー・テクニクにできること」

### ■ C 連携事業

- ① THEATRE E9 KYOTO×京都舞台芸術協会ショーケース企画“Continue”
- ② 「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」へのアーティスト推薦
- ③ 各団体への後援、共催など

### ■ D 発信事業

- 情報発信（WEBサイト・会報・総合チラシ）

## A 互助事業

### ① 「なんでも相談窓口」の運営

---

#### ■ 実施内容

日時：通年

形態：協会WEBサイトにフォームを設置

2020 年度相談件数：2 件

#### ■ 目的

2018 年度・2019 年度から引き続き、京都における舞台芸術活動に関わる相談を受け付ける「なんでも相談窓口」のメールフォームをウェブサイト上に設置、運用する。相談者個別の問題の解決をサポートすると同時に、その問題が多くの人にとっても共通する課題である場合には、その課題解決に資する事業を次年度以降に組み込む等、インフラとしての機能をより強化する。

#### ■ 成果と課題

継続的に設置している相談窓口だが、今年度は2件の相談が寄せられた。その中には、苦境にある舞台芸術関係者をサポートしたいという申し出もあった。京都の舞台芸術関係者と繋がりたい、というニーズにも応えられるようにしていきたい。現状、相談窓口が十分に活用されているとは言い難いため、来年度以降も設置を継続するとともに、本事業の周知を進めていきたい。

## ② 「創作活動」と「労働環境」の関係性を探るリサーチ

#### ■ 目的

創作活動における「働き方」について、意見や価値観を交換・共有し、無理なく舞台活動、そして自身の生活を続けていけるために、活動方法の「選択肢を増やす」ことを目指す。

#### ■ 実施内容

座談会企画「舞台芸術における”働き方”とはなにか」

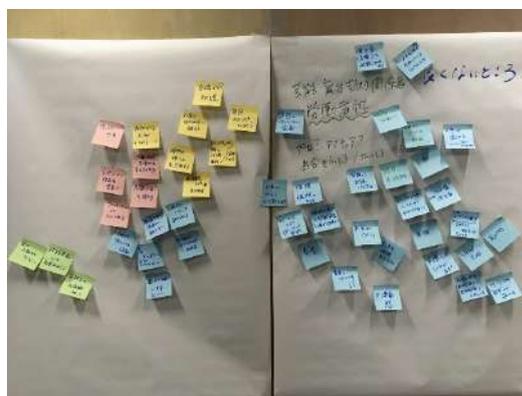
日時：2021年1月25日(月)18:30~20:00

会場：THEATRE E9 KYOTO

参加者：7名

#### ■ 成果と課題

今回は今それぞれが抱えている様々な悩み・課題・問題が浮き彫りになった。実施時間が90分と短かったこともあり、改善策などの前向きな意見までなかなか出てこなかった。もう少し時間を長くし、テーマを絞ることで、より具体的な選択肢の提示に至れるのではないかと思う。「なんとかしたい」「なんだか苦しい」という思いを持つ人も多かったので、こうやって同じ思いを自分の言葉で誰かと共有できる機会はとても貴重に感じた。全員が満場一致で納得する解決策はないかもしれないが、より快適で無理のない環境を作るためのはじめの一歩だったのではないだろうか。



## ③ 舞台芸術家の交流事業「交流会」

#### ■ 目的

前年度に引き続き、交流会事業を行う。舞台芸術に携わる方や興味のある方を多様につなぐハブとしての役割を果たすため、協会員同士の、また協会員と非協会員との接点を見つめ、各自の問題意識のすり合わせや課題の共有を主

体的に行うための場づくりを行う。また、協会そのものや協会の事業について知って頂く入り口としての位置づけも果たす。

## ■ 実施内容

### 第1回「京都という創作環境をめぐる vol. 3」

日時：2020年7月16日（木） 20：00～22：00

会場：オンライン会議ツール「Zoom」 ミーティングルーム

参加費：無料

参加者：24名

### 第2回「舞台芸術の行く先」

日時：2020年10月6日（火） 19：30～21：30

会場：オンライン会議ツール「Zoom」 ミーティングルーム

参加費：無料

参加者：20名

### 番外編「緊急！だべりば」

日時：2020年1月21日（木） 20：00～22：00、2月2日（火） 20：00～22：00

会場：オンライン会議ツール「Zoom」 ミーティングルーム

参加費：無料

参加者：9名ずつ

## ■ 成果と課題

2020年度は計4回、新型コロナウイルス感染症予防の観点から全てオンラインで交流会を実施した。

第1回、第2回はテーマを設けて参加者を募ったが、番外編はコロナ禍によって個人が孤立しがちな状況を危惧し、より敷居の低い交流の場を設けた。

オンラインでの実施という事もありお子さんの世話をしながら参加して下さる方や海外から参加して下さる方など、多様なバックグラウンドを持つ方々の参加が得られたが、オフラインでは自然と行っていた連絡先交換のしづらさなど解決すべき課題も残った。

日々変化する情勢の中で、情報交換、交流の場を意識的に開いていく必要性をより強く感じた1年だった。



## ④ 京都市いきいき市民活動センターの利用料金化に関する意見交換会

### ■ 実施内容

日時：2021年3月9日（火）19:30-21:00

形態：オンライン（Zoom ミーティングルーム）

参加者 22 名

#### ■ 目的

京都市会に提出された「京都市市民活動センター条例の一部を改正する条例の制定について」という議案を受け、緊急開催した。この議案では、令和 4 年 4 月から京都市いきいき市民活動センターに利用料金制度が導入されるとあり、舞台芸術分野に関わる多くの人も稽古場として活用している施設の実質的な値上げに関して議論が必要と考え、行った。

#### ■ 成果と課題

告知から開催まで非常に短期間であったにも関わらず、京都市市議会議員を含め二十数名の参加があり、関心の高さがうかがえた。意見交換会を踏まえ、利用料金化への慎重な議論を要請する陳情を協会名義で作成し、3 月 15 日に市会事務局に提出した。稽古場として利用できる施設はその地域における舞台芸術の層の厚さを担保する非常に重要なインフラであり、その価格の上昇は大きな影響をもたらすことは想像に難くない。議案は可決されたが、引き続き状況の推移に注目していく。

## B 企画事業

### ① 感想シェア会

#### ■ 目的

作品を観ることで生まれる、思考や発想を批評として表現することで「観劇」の機会を次につなげ、作品に触れる欲求や、創作への意欲を高め、舞台芸術活動の活性化を促す。前年度まで実施してきた「劇評講座」の趣旨を引き継ぎ、感想を共有しあう継続的な「場所」を作ることを 目的に 2019 年度より形式を一新して実施をしている。今年度は引き続き同形式での実施、定着化をねらいとする。

#### ■ 実施内容

##### 感想シェア会①

公演：中川 裕貴『アウト、セーフ、フレーム』

日時：8 月 1 日（土）13:00 の回の終演後

会場：ロームシアター京都 サウスホール ロビー

##### 感想シェア会②

公演名：あごうさとし『ペンテジレアー』@ THEATRE E9 KYOTO

日時：10 月 27 日（火）20:00～

会場：オンライン（Zoom ミーティングルーム）

#### ■ 成果

本年度は劇場での開催、オンラインでの開催のそれぞれ 1 回ずつ実施した。これまでは特定の回の終演後に劇場近くで実施していたが、今回は公演期間後のオンライン開催を実施、異なる観劇日の参加者が同じ作品について話し合うことができ、新型コロナウイルス感染症拡大防止だけでなく、オンライン開催特有の利点を発揮した。

### ② 思考と技術のトークシリーズ

#### ■ 実施内容

日時：2021 年 2 月 18 日（木）19:30～21:00（アーカイブ期間：3 月 18 日～4 月 18 日）

会場：協会 YouTube チャンネル

同時視聴者数：15 名程度

登壇者：松尾加奈（東京芸術大学大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻）

筒井加寿子（劇作家・演出家／ルドルフ主宰／京都舞台芸術協会理事）

松岡咲子（俳優／ドキドキぼーいず／京都舞台芸術協会理事）

#### ■ 目的

2020 年度、コロナ禍によって舞台芸術のあらゆる要素が問い直される状況となった。否応なく変化する時代を前に、舞台芸術の担い手 1 人ひとりにも、多くの問題・課題を見据えながら、その解決に向けて行動できる、つまり考え続け実践する力＝思考と技術が必要と考える。身近なテーマを再考しながら、その力を培う機会となることを目的とした。

#### ■ 課題と成果

イベントタイトルを「思考と技術のトーク『稽古場』と『創作プロセス』をみつめなおす」と題し、舞台芸術の担い手ならば誰にとっても身近であるテーマを元を実施した。イベント全体を通じて、舞台芸術の稽古場における協働について、そして、「当たり前」から少し距離をとって創り方を再考してみる時間となった。協働について考えることは、稽古場で起きるコミュニケーションに自覚的になっていく作業でもあり、近年問題視されるハラスメントの防止にもつながったと考えられる。事業目的を達成するためのシリーズ化にはあらゆるコストがかかり、現状は継続が難しいと判断するが、ゲスト招聘のしやすい予算獲得などが実現できれば、改めて検討したい。

### ③ 俳優のためのワークショップ企画「“あなた”と“表現”を生かす『からだの使い方』—アレクサンダー・テクニクにできること」

---

#### ■ 実施内容

日時：2020 年 11 月 23 日（月・祝）14:00—15:00

会場：オンライン（Zoom ミーティングルーム）

参加者：10 名

参加費：2,500 円（京都舞台芸術協会会員は 500 円 OFF）

講師：芳野香

#### ■ 成果と課題

舞台に立つ俳優が「からだの使い方を学ぶ」とはどういうことなのか、その意義や具体的な方法に迫る企画。講師に「アレクサンダー・テクニク・センター スタジオ K」主宰の芳野香先生を招き、40 分の講演と 10 分のミニワークをオンラインで開催した。参加者は遠方・海外在住者を含む 10 名。

講演のテーマは、「アレクサンダー・テクニクとは何か」および「演劇における『からだの使い方』を学ぶ意義について」。創始者の F.M. アレクサンダー氏がテクニクを確立していった経緯や、欧米の演劇教育現場におけるアレクサンダー・テクニク（以下 AT）のクラス内容、AT を通して俳優が自分のからだや自分自身を表現に活かすまでに至る過程などについてお話しいた。ミニワークでは椅子を使用し、「立つ」「座る」というシンプルな動作における関節の使い方のレクチャーが行われた。「役柄にあった動き」につなげていく前提として、無駄や無理のない「最もプレーンな動き」を探った。最後の質疑応答では多数の質問・疑問が出され、参加者がさまざまにからだに対する興味や問題等を抱えていることが窺えた。



## C 連携事業

### ① 「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」へのアーティスト推薦

#### ■ 目的

専門家集団である京都舞台芸術協会が窓口としての役割を果たし、芸術家の仕事を市民に広く知ってもらい、かつ舞台芸術の魅力をアピールする機会とする。

#### ■ 実施内容

劇作・演出家の村上慎太郎氏と、俳優の松岡咲子氏を推薦した。しかし、村上氏の担当予定であった小学校側の意向で、新型コロナウイルス感染防止の観点から実施がキャンセルとなった。松岡氏の担当であった保育園では、5歳児のクラスを対象に実施が実現した。ワークショップ内容としては、身体をつかったシアターゲームの他、抽象的な音を聞いて、そこがどこなのか（場所）イメージを膨らませ、子どもたちにそこ（場所）を生きる生き物やモノを演じてもらい世界を創り出すといった、音からのイメージで身体表現を立ち上げる内容となった。



### ② THEATRE E9 KYOTO×京都舞台芸術協会ショーケース企画“Continue”

#### ■ 実施形態

ショーケース型公演

企画・製作：THEATRE E9 KYOTO（一般社団法人アーツシード京都）、NPO 法人京都舞台芸術協会

主催：THEATRE E9 KYOTO（一般社団法人アーツシード京都）

共催：NPO 法人京都舞台芸術協会

協力：NPO 法人大阪現代舞台芸術協会(DIVE)

※2020 年度は開催延期

#### ■ 目的

「続けること」をテーマに、上演活動のみならず、同時代にどのような舞台芸術がありうるか、対話とその共有によって可能性を探る。公演準備や関連企画を通じて、舞台芸術に携わる人々のネットワーク形成、観客参加の裾野の拡大など、京都における劇場文化のさらなる発展に寄与する。

#### ■ 成果と課題

当初 2020 年 5 月 15 日（金）～18 日（月）に実施予定だったショーケース公演を、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、参加アーティストと劇場とのオンラインでの協議を経て開催を延期した。その後、参加アーティストと劇場が話し合う機会を継続的に設け、アーティストのアイディアに基づいた小さな取り組みを「“Continue” 関連企画」シリーズとして実施した。また、話し合いの中では、アーティストと劇場がいかに連帯し、持続可能な創作環境を作っていけるかが議論された。

実際の公演は叶わなかったが、企画当初のコンセプトが新型コロナウイルス禍においてより本質的な問いとなり、アーティスト／劇場／協会が話し合いの場と関連企画というアウトプットを継続できたのは重要な成果だったと考えている。

### ③ 各団体への後援、共催など

---

#### ■ 共催

##### 演劇ビギナーズユニット 2020

期間：2020 年 6 月 1 日（月）～9 月 10 日（木）

会場：京都市東山青少年活動センター

主催：京都市／公益財団法人 京都市ユースサービス協会

※新型コロナウイルスの感染拡大状況に鑑み開催中止

#### ■ 協力

##### ロームシアター京都 シンポジウム

##### 劇場におけるハラスメントを考える 「個人が尊重され、豊かな対話が生まれるために」

日時：2021 年 2 月 14 日（日）14 時～16 時 30 分

会場：ロームシアター京都 ノースホール

参加料：無料（要申込）

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団、京都市

※理事の筒井が第 2 部のディスカッションに登壇

## D 発信事業

### 情報発信（WEB サイト・会報・事業チラシ）

---

昨年に引き続き、会報は年 2 回発行した。事業チラシは新型コロナウイルスの流行につき、年間の公演数が激減したため、発行を中止とした。WEB サイトでは、事業ごとに担当者によるレポートを掲載するなど、積極的な情報発信が行われた。また、WEB サイトに「新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた京都の舞台芸術関係者に対する支援情報等まとめ」ページを作成し、各種の支援情報や劇場稼働状況などをまとめ、随時更新した。



## 第2号議案 2020年度 収支決算報告

### 2020年度決算

収入			
費目	細目	金額	備考
会費	個人会費・団体会員	¥156,000	11個人・11団体
	賛助会費	¥0	
寄付		¥0	なし
助成金		¥0	なし
事業収入		¥24,000	俳優向けWS参加費(会員2名、非会員8名)
		¥100,000	E9との共催事業 プロモーション料
当期収入合計		¥280,000	
前年度繰越金		¥78,163	
合計		¥358,163	
支出			
費目	細目	金額	備考
事業費	互助事業	¥1,359	労働環境のリサーチ(雑費)
		¥0	交流会事業(会場費・飲食費など)年3回
	企画事業	¥381	感想シェア会事業(広報費)
		¥10,000	思考と技術トークイベント開催費(ゲスト謝金)
		¥32,376	俳優向けワークショップ(講師謝金)
	連携事業	¥0	E9との共催事業(協賛金、雑費)
	発信事業	¥15,568	ウェブサイト運用(レンタルサーバー、ドメイン)
		¥5,610	会報作成・発送費
	協賛金	¥0	演劇ビギナーズユニット協賛金
	支払手数料	¥550	振込手数料など
管理費	地代家賃	¥12,480	京都市市民活動総合センターロッカー(中)2ヵ年分
	通信運搬費	¥21,299	郵送費、切手代、Zoom有料アカウントなど
	印刷製本費	¥1,167	理事会・総会等書類作成費用
	消耗品費	¥422	
	支払手数料	¥0	振込手数料
	租税公課	¥0	
	諸会費	¥0	京都市芸術文化協会 会費(2020年度)
	旅費交通費	¥2,460	
	雑費	¥660	郵便振替通知
当期支出合計		¥104,332	
当期収支差額		¥175,668	
次年度繰り越し金見込み		¥253,831	

### NP0 法人 京都舞台芸術協会 令和3年3月31日現在 貸借対照表

資産	金額	負債・資本	金額
現金	¥58,687	未払金	¥0
ゆうちょ銀行	¥287	前受金	¥0
郵便振替口座	¥82,275		
京都銀行	¥112,582		
未収金	¥0	前期繰越正味財産	¥78,163
前払金	¥0	当期正味財産増減額	¥175,668
	¥253,831		¥253,831

# 会計監査報告

---

## 監査報告書

特定非営利活動法人京都舞台芸術協会  
理事長 丸山 ながら 殿

特定非営利活動法人京都舞台芸術協会の2020年度会計について、通帳・帳簿・領収書を精査し、問題のないことを確認いたしました。

2021年 4月 29日

田中 遊



2021年 5月 2日

植村 純子



# 第3号議案 2021年度活動計画(案)

## 2021年度の活動計画(案)

### ■ A 互助事業

- ① 【継続】「なんでも相談窓口」の運営
- ② 【継続】「創作活動」と「労働環境」の関係性を探るリサーチ
- ③ 【継続】舞台芸術家の交流事業「交流会」

### ■ B 企画事業

- ① 【継続】感想シェア会
- ② 【新規】学生劇団の実態調査とインターンの受入
- ③ 【継続】俳優のためのワークショップ企画「“あなた”と“表現”を生かす『からだの使い方』——アレクサンダー・テクニックにできること」2021
- ④ 【新規】京都舞台芸術協会アーカイブ

### ■ C 連携事業

- ① 【継続】THEATRE E9 KYOTO×京都舞台芸術協会ショーケース企画“Continue”
- ② 【継続】「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」へのアーティスト推薦
- ③ 【継続】各団体への後援、共催など

### ■ D 発信事業

- 【継続】情報発信（WEBサイト・会報・SNS）

## A 互助事業

### ① 【継続】「なんでも相談窓口」の運営

#### ■ 目的

2018年度から継続して、京都における舞台芸術活動に関わる相談を受け付ける「なんでも相談窓口」のメールフォームをウェブサイト上に設置、運用する。相談者個別の問題の解決をサポートすると同時に、その問題が多くの人にとっても共通する課題である場合には、その課題解決に資する事業を次年度以降に組み込む等、インフラとしての機能をより強化する。

#### ■ 概要

「なんでも相談窓口」に寄せられた相談については、理事会および事務局がメールもしくは直接の面談によって対応する。相談内容に応じて、理事および協会のネットワークを活用し、ナレッジの提供、施設・組織・人の紹介などを行う。寄せられた相談の解決方法が、相談者のみならず多くの人にも役立つと考えられる場合、相談者の個人情報等に最大限配慮した上で、事例をWEBサイトに掲載し広く共有できるものとする。

### ② 【継続】「創作活動」と「労働環境」の関係性を探るリサーチ

#### ■ 目的

前年度に行った座談会企画にて出た話や意見を参考に、テーマを絞り、課題に対してより具体的な改善案を提示す

る。

#### ■ 概要

長時間労働が常態化している劇場現場における労働時間短縮の試験的取り組みとして、THEATRE E9 KYOTO ×京都舞台芸術協会ショーケース企画“Continue”では劇場での作業時間を8時間とした。この取組について、出演団体とスタッフなどそれぞれの立場からのフィードバックを受けて、どのような良い点や問題点があったのか、報告と検証を行う。

### ③ 【継続】舞台芸術家の交流事業「交流会」

---

#### ■ 目的

2018年度より継続して実施した「交流会」事業に本年度も取り組む。この事業は、協会員・非協会員の方を多様につなぐ場として、また協会のことをより深く知っていただく機会として機能してきた。それらの利点を継承していくと共に、テーマをよりアクチュアルに検討し、議論が深まる場を醸成していく。社会状況に合わせ、オンライン開催も選択肢とする。

#### ■ 継続検討する主な内容

##### 「京都という創作環境をめぐる vol. 4」

創造環境の整備や課題解決など、本協会と近いミッションを持っている芸術支援団体のスタッフを多く招き、交流や情報交換を行う。

##### 「ロームシアター京都ハラスメント防止ガイドライン」

協会も策定に一部協力したロームシアター京都の「ハラスメント防止ガイドライン～ロームシアター京都で過ごす全ての人のために～」を材料に、持続可能かつ健全な創作環境のありかたについてざっくばらんに話す機会を設ける。

#### ■ その他考えられる内容とテーマ

- 月1だべりば

※毎月1回程度実施予定

#### ■ 予算

オンライン開催：参加費無料 ※実施には協会で保持するオンライン会議ツール「Zoom」アカウントを使用する。

対面実施：500円～1500円程度の参加費を徴収（飲食費、会場費に充当）

## B 企画事業

---

### ① 【継続】感想シェア会

---

#### ■ 目的・ねらい

作品を観ることで生まれる、思考や発想を批評として表現することで「観劇」の機会を次につなげ、作品に触れる欲求や、創作への意欲を高め、舞台芸術活動の活性化を促す。前年度まで実施してきた「劇評講座」の趣旨を引き継ぎ、感想を共有しあう継続的な「場所」を作ることを目的に2019年度より形式を一新して実施をしている。

#### ■ 概要

舞台作品を鑑賞し、それぞれの中に生まれるイメージや感覚、疑問や違和感、そうしたものを自身の中に留めず、他人とシェアしていくことが、作品にとってさらなる広がりを見せることになる。そうした作品と観客の関係性をよ

り豊かにしていく一歩として、参加者の参加し易さを考慮し同じ作品を観た他者と感想を気軽に共有する場を作ることとを主眼におく企画とする。今年度は、コロナ禍の情勢に合わせ、対面での実施が可能な機会を探りつつ、状況に応じて開催する予定である、

## ②【新規】学生劇団の実態調査とインターンの受入

---

### ■ 目的・ねらい

京都は大学が多く所在するまちでもあり、京都舞台芸術界にとっても学生劇団の活動の活発さと、卒業生の継続的な活動によって、若手アーティストが活躍しやすい機運が醸成されてきた。今後の業界を支える人材の場とも言える学生劇団とのつながりを強化することもふまえ、卒業後も舞台芸術活動の継続を望む若手の育成もねらいとする。

### ■ 概要

現状の学生劇団の情報のリストアップを行う。大学名、劇団名、活動年数、連絡先、所属人数等の調査を行い、京都舞台芸術協会の交流会案内や今後の活動に役立てる。リストの公開等は検討しつつ進める。

京都舞台芸術協会のイベント企画運営や、日々の事務局業務について、学生インターンを受け入れる。交通費支給（原則京都市内での実費支給）、最大2名。5～6月に公募や面接を行い、7～3月を活動期間とするが、対象学生のスケジュールに合わせ検討する。

## ③【継続】俳優のためのワークショップ企画「”あなた”と”表現”を生かす『からだの使い方』——アレクサンダー・テクニクにできること」2021

---

### ■ 目的・ねらい

2020年度に実施した同名ワークショップの第2弾。欧米の舞台芸術専門機関で必須カリキュラムとなっている「アレクサンダー・テクニク」の指導者を招き、「身体の使い方」という視点から、俳優の演技向上のためのレクチャーや身体ワークを行ってもらおう。レクチャーに重点を置きオンラインで開催した2020年度の内容から一歩進んで、ワークの時間に重点を置き、基本的には対面で実施する。もっと「上手く」なりたいが何をしたらいいのかわからない、漠然と「才能がない」と感じている、努力しているつもりなのに成果を実感できない、身体に不調がある等々、さまざまな問題を抱える俳優にとって新たな扉が開かれる機会となることを目指す。

### ■ 概要

講師：芳野香氏（アレクサンダー・テクニク・センター スタジオK主宰）

日程：2021年7月下旬

会場：京都市内

時間：1時間半～2時間程度

## ④【新規】京都舞台芸術協会アーカイブ

---

### ■ 目的

協会の歴史を辿り直すことで、京都における舞台芸術の状況の変遷を概観し、将来に向けて協会がどのような組織であるべきか、また京都の環境がどのようになっていくべきかの指針をあらためて検討する。

### ■ 概要

京都舞台芸術協会の過去の理事や事業について、まとまった形で触れられるアーカイブを作成する。年表や事業などを整理し、協会のウェブサイトにて公開する。また、過去の理事などにインタビューを行う。アーカイブは、協会の広報素材として、会員募集や活動の周知に活用する。

## C 連携事業

### ① 【継続】 THEATRE E9 KYOTO×京都舞台芸術協会ショーケース企画“Continue”

#### ■ 実施形態

ショーケース型公演

日時：

4月24日(土) 15:00 A★

4月25日(日) 15:00 B★

4月26日(月) 19:00 A

4月27日(火) 19:00 B

★終演後に出演団体によるアフタートークあり

Aプログラム：鳥公園/NPO 法人大阪現代舞台芸術協会 (DIVE)

Bプログラム：正直者の会/ドキドキぼーいず

企画・製作：THEATRE E9 KYOTO (一般社団法人アーツシード京都)、NPO 法人京都舞台芸術協会

主催：THEATRE E9 KYOTO (一般社団法人アーツシード京都)

共催：NPO 法人京都舞台芸術協会

協力：NPO 法人大阪現代舞台芸術協会 (DIVE)

#### ■ プレトークイベント

“Continue” プレトークイベント「はじめる・つづける・つなげる」

日時：4月12日(月)19:00-21:00

会場：Youtube Live

参加費：無料

登壇者：笠井友仁 (エイチエムピー・シアターカンパニー、NPO 法人大阪現代舞台芸術協会 (DIVE))、田中遊 (正直者の会)、西尾佳織 (鳥公園)、松岡咲子 (ドキドキぼーいず、京都舞台芸術協会)、和田ながら (鳥公園、京都舞台芸術協会)

司会：あごうさとし (THEATRE E9 KYOTO 芸術監督)

主催：NPO 法人京都舞台芸術協会

共催：THEATRE E9 KYOTO (一般社団法人アーツシード京都)

#### ■ 目的

「続けること」をテーマに、上演活動のみならず、同時代にどのような舞台芸術がありうるか、対話とその共有によって可能性を探る。公演準備や関連企画を通じて、舞台芸術に携わる人々のネットワーク形成、観客参加の裾野の拡大など、京都における劇場文化のさらなる発展に寄与する。

#### ■ 概要

2019年度末より THEATRE E9 KYOTO と共同で企画していたショーケース公演を、2020年度の開催延期を経て、新型コロナウイルス感染症対策を講じ実施する。オンラインで行うプレトークイベントを通じ、劇場とアーティストが互助的に関わり合ってきたこれまでのプロセスを広く社会に共有する。また、長時間化が常態となっている劇場現場の労働環境改善に向けた取り組みとして、劇場での作業時間を実働8時間と定め運営する。

### ② 【継続】「ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業」へのアーティスト推薦

#### ■ 目的

専門家集団である京都舞台芸術協会の窓口としての役割を果たし、市民に広く舞台芸術の魅力をアピールする

## ■ 概要

京都市では、2007年度から、芸術家を小中学校へ派遣する事業を始めた（京都市が京都芸術センターに事業委託し、京都芸術センターがアーティストと学校現場の仲介を行う）。伝統芸能から生活芸術、現代芸術（演劇・ダンス）まで、幅広いジャンルの芸術家を派遣して子どもたちに「授業」を行い、優れた文化芸術の「ほんもの」に触れる機会を創出することによって、文化芸術に親しむきっかけを創り、豊かな感性や人間性を育むとともに、その中から文化芸術の次代の担い手が出てくることを目指す。

## ② 【継続】各団体への後援、共催など

---

前年度同様、随時募集し、理事会にて審議し承認する。

## D 発信事業

---

### 【継続】情報発信（WEB サイト・会報・SNS）

---

前年度に引き続き、年2回の会報の発行とWEBサイト及びSNSでの発信を活用し、協会の活動内容の可視化に努める。

また、「京都舞台芸術協会」設立25年を機に協会がこれまで行ってきた事をリサーチし、京都舞台芸術協会のあゆみとしてWEBサイトにアーカイブする。

## 第4号議案 2021年度 収支予算 (案)

収入			
費目	細目	金額	備考
会費	個人、団体	¥174,000	29個人団体×6,000円
事業収入	交流会事業	¥15,000	参加費1000円×15人
	俳優向けWS参加費	¥28,500	参加費3000円×7人(非協会員)、2500円×3人(協会員)
助成金		¥0	検討中
当期収入合計		¥217,500	
前年度繰越金		¥253,831	
合計		¥471,331	

支出			
費目	細目	金額	備考
事業費			
	互助事業	¥5,000	労働環境のリサーチ(会場費、交通費、雑費等)
		¥15,000	交流会事業(会場費・飲食費など)
	企画事業	¥30,000	俳優向けワークショップ(講師謝金等)
		¥10,000	協会アーカイブ
		¥20,000	学生劇団の実態調査とインターン受け入れ
	連携事業	¥100,000	E9との共催事業(協賛金、雑費)
	発信事業	¥7,784	ウェブサイト運用(レンタルサーバー、ドメイン)
		¥20,000	会報作成・発送費
	協賛金	¥10,000	演劇ビギナーズユニット協賛金
管理費			
	地代家賃	¥6,240	京都市市民活動総合センターロッカー(中)
	通信運搬費	¥30,000	郵送費、切手代、Zoom有料アカウントなど
	印刷製本費	¥3,000	理事会・総会書類作成、コピー代
	消耗品費	¥5,000	事務用品
	支払手数料	¥2,000	振込手数料など
	租税公課	¥3,000	印紙など
	諸会費	¥10,000	京都市芸術文化協会 会費
	旅費交通費	¥25,000	事務局交通費
	事務局経費	¥23,760	
当期支出合計		¥325,784	
当期収支差額		(¥108,284)	
次年度繰り越し金見込み		¥145,547	

# 会議録（理事会）

---

2020年度、下記の日程で理事会を実施した。

## ■ 実施日時

2020年

4月6日	19:00-21:30	於・オンライン（Skype）
5月15日	19:00-21:30	於・オンライン（Zoomミーティング）
6月2日	19:00-21:30	於・オンライン（Zoomミーティング）
7月7日	19:00-22:00	於・オンライン（Zoomミーティング）
8月13日	19:00-21:30	於・オンライン（Zoomミーティング）
8月17日	19:00-21:30	於・オンライン（Zoomミーティング）
9月7日	14:30-16:30	於・京都市市民活動総合センター
10月1日	19:00-21:00	於・オンライン（Zoomミーティング）
11月14日	9:00-11:00	於・オンライン（Zoomミーティング）
12月27日	19:30-21:00	於・オンライン（Zoomミーティング）

2021年

1月16日	19:30-21:00	於・オンライン（Zoomミーティング）
2月16日	18:30-20:30	於・オンライン（Zoomミーティング）
3月19日	10:00-13:00	於・京都市市民活動総合センター

## 議事録署名人の選任

---

以上の議事をもとに議事録を作成し、議長が選出した署名人が署名・捺印をし、所轄庁に議事録を提出します。

## ■ 定款の該当項目

### 第5章 総会

第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 正会員総数及び出席者数（書面表決者又は表決委任者又はオンライン会議システムによる表決者がある場合にあっては、その数を付記すること）
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。